

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間						
		項目	細目	詳細								
1	上田 秀	1	人口減少社会の到来を踏まえた本市のまちづくりについて	(1) 人口減少社会の到来を踏まえた本市のまちづくりについて 現在、本市の人口は増加しているが、様々な理由で、結婚しない、結婚しても子どもを産まないという現実があり、少子化に歯止めがかからず、人口減少は確実に起こる。しかも、人口が減少するにつれ高齢者の割合が増加するといった大きな問題を抱えながらである。さらに、ここ数年で少子化対策の効果が顕著に表れ、出生率が大幅に向上したとしても、生まれてくる子どもたちが成人するまでの約20年間で、高齢者への社会保障問題を踏まえ、どう持ちこたえるかといった課題も浮き彫りになっている。	市副教 担 長 市 育 長 長 担 当 部 局 長	35分						
				ア			こうした未来が見込まれるなかで、本市の活力を今後どう維持し、持続可能な魅力あるまちづくりをしようと考えているのか、とりわけ財源の確保や労働力の確保の観点から伺う。					
				2			子育て支援におけるニーズ把握と今後の施策展開について					
		(1)	ニーズ把握と支え合いについて 急速に少子化が進むなか、国においては、骨太の方針のなかで「こども未来戦略方針(案)」が示され、子育てにかかる経済的支援として出産一時金の引き上げや児童手当の拡充などが示されている。	ア			本市の地域特性に応じた課題の解決に向けてデジタル技術の活用により子育て当事者が必要とする支援策の迅速なニーズ把握はできないか。					
				イ			つながりの希薄化が叫ばれるなか、孤立しがちな子育て当事者同士がつながり、お互いに助け合いができるような場づくりや機会の創出などの工夫は考えられないか。					
				(2)			「こども計画」について 本年4月、「こども基本法」が施行され、各自治体は、こども計画等の策定に当たって、子どもの意見の反映に係る措置を講ずることとなっている。	ア	本市においては今後、こども計画を策定する予定はあるのか。			
								イ	策定する場合、子どもの意向の反映についてどのような手段を講じるのか。			
								3	地域コミュニティの現状と対策について	(1) 住民自治協議会等の実情について 現在、市の中心部を取り囲むように新たな住宅団地等が増えているが、住民自治協議会や自治会との関係や関わり方が様々な状況となっている。	ア	住民自治協議会等への未加入の実情をどのように把握し、どのように対処するのか。
											(2) 住民自治協議会未加入団地等への対応について 防犯灯や道路・河川改修などの生活関連要望については、住民自治協議会を通じて要望するシステムとなっている。	ア

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間		
		項目	細目	詳細				
2	原田 栄二	1	1 体育館の空調設備の設置の取組みについて		市副市長 教育長 担当部長	35分		
			(1)	小中学校体育館への空調設備及び太陽光発電設備、蓄電池の導入事業について 本市では、21校の体育館(避難所)に令和6年度から令和9年度にかけて導入され、期待される効果として光熱費の削減、災害レジリエンス強化、環境学習等となっております。				
				ア			本市で取り組む、21校の体育館への導入について、どのようなシステム構成になっているかお伺いいたします。	
				イ			本市では43校の体育館がありますが、今回の事業で導入される21校を選んだ理由、そして21校以外の体育館の今後の対応についてお伺いいたします。	
		ウ	災害時に太陽光発電設備の蓄電池が不足し、ライフラインが閉ざされて買電もできない場合の対応策が必要と考えますが、ご見解をお聞かせください。					
		2	2 鳥獣による被害の防止の取組みについて					
			(1)	鳥獣被害防止対策の取組みについて 東広島市における農作物被害については、主にイノシシ、シカによるものが大きく、中でも水稻被害が全体の86%を占めております。近年では市街地近郊部においてもイノシシの被害が深刻になっております。				
				ア			本市は、令和5年度は被害額20%減を目標にしておりますが、前年度はどうだったのかお伺いいたします。	
				イ			尾道市では捕獲のために貸し出す箱わなを増やし、昨年度の捕獲数が過去最多の成果を出しております。本市での今後の捕獲数を増やす為の取組みをお伺いいたします。	
		3	3 支え合う助け合う地域構築の取組みについて					
			(1)	支え合う助け合う地域構築の取組みについて 社会は高齢化と核家族化により、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯家族が増加しております。高齢者の日常を支える取組みが益々重要になっております。				
				ア			食品などの日常の買い物に困っている高齢者などを支援するため、地域を巡回する移動販売カーの運行を進めるべきと考えますが、ご見解をお伺いいたします。	
				イ			通院が困難な高齢者に対して、集会所や自宅付近へオンライン診療所の整備が必要と考えますがご見解をお伺いします。	
				ウ			ここ数年、社会問題としてメディアで多数取り上げているのが8050問題です。80代の親が50代の子どもの生活を支え、経済的にも行き詰まっている事も少なくありません。講習会等を積極的に展開し適切な支援が届けられる体制が必要と考えます。本市の取組みのご見解をお伺いいたします。	
				エ			気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、人の生命を守るため対策強化が必要と考えますがご見解をお伺いします。	

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
3	下向智恵子	1		「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分
				(1) 不登校対策支援について 小中高等学校の不登校児童生徒が急増し、約30万となった。文部科学省では誰一人取り残されない学びの保障について「COCOLOプラン」を発表。本市の取り組みについて		
				ア 「COCOLOプラン」には、教育委員会が「保護者の会」を設置し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを派遣するなどの取り組みが盛り込まれているが、本市の不登校児童の保護者支援について伺う。		
				イ 「スペシャルサポートルーム(SSR)」の設置状況と今後の取り組みについて伺う。		
				ウ 自宅・SSRなどで授業や課題をオンラインで受けられることができる指導体制について今後の取り組みを伺う。		
				エ 不登校生徒の高校進学支援としての教室外での学びの反映について、状況と取り組みを伺う。		
		2		学校制服のLGBT対応について		
				(1) 選択できる学校制服について LGBTの配慮、また多様性を認めあうダイバーシティ教育の一環として選択できる制服のあり方について		
				ア 本市における男女スラックス制服採用校の状況について伺う。		
				イ 学校の制服選択の決定権について伺う。		
		ウ 市内中学校での全校スラックス採用について伺う。				
		3		自治会等のデジタル化について		
				(1) デジタル技術を利用した地域コミュニティについて 人口減少と高齢化により弱体化した地域コミュニティを本市のデジタルを利用して活性化する取り組みについて		
				ア 自治会等の地域コミュニティの弱体化についての認識、地域コミュニティを維持するための支援の必要性について伺う。		
				イ 自治会等のデジタル化など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築について、また、今後の取り組みについて伺う。		
ウ 市民活動情報サイト「すきかも」について、利用できている自治協に差があると思われるが活用支援について伺う。						

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間		
		項目	細目	詳細				
4	鍋島 勢理	1	地域共生社会について	(1) 地域共生社会の実現について 市長は令和5年第一回臨時会での開会挨拶で、「すべての市民が『Well-being』幸福を感じられる『やさしい未来都市』を実現するために、令和6年度に向け、多様性と包摂性のある『地域共生社会の実現』について、現在進めている取り組みを踏まえ、関連する施策を包括的に推進するための議論を開始した」と表明された。	市 長 副 市 長 教 育 局 長 担 当 部 局 長	35分		
				ア 「地域共生社会の実現」の包括的な推進について、現在、どのような方向性で検討されているのか伺う。				
				イ 東広島市では「Well-being」をどう捉え、定義しているのか伺う。また、地域共生社会の実現に向けた包括的な施策の評価を行うために、市民の「Well-being」を指標化することが重要だと考えるが、見解を伺う。				
				(2) 多文化共生について 海外からも選ばれる「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」実現のため、多文化共生に向けた取り組みを進めていくことが大切である。令和2年度7月に第3次東広島市国際化推進プランが策定され、コミュニケーションコーナーの充実、日本語学習支援、外国語による情報提供など様々な取り組みが目下進められているところである。				
				ア 第3次東広島市国際化推進プランの現在の評価と、次年度に向けた課題認識について伺う。				
				イ 現在国では、「特定技能2号」の受け入れ対象分野が現在の2分野から11分野へ拡大する動きがある。「特定技能2号」を取得すれば、無期限就労が可能になる上、家族の帯同も認められるようになることから、今後「特定技能2号」を取得された方のご家族に対する教育や子育て、福祉施策などの環境整備の強化も部門間が連携し検討していく必要性が出てくる。既存事業に加え、環境整備の拡充についてどのような準備を検討しているか伺う。				
				(3) 部活動の地域展開について 少子化による生徒数の減少に伴う部活動の小規模化と減少、そして教員の長時間勤務と指導の負担を鑑み、文部科学省より令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行していくことが示された。本市では教育資源や地域実態を踏まえた東広島モデルの確立が進められている。				
				ア 「部活動の地域展開」の方向性について伺う。また本市における部活動の地域展開について、現状の課題認識と解決に向けた取り組みを伺う。				
				イ 志和地区において取り組みが進められているが、現段階の志和地区の現状と他地域への展開について伺う。				
				2			産業施策について	(1) 産業施策について 本市は基幹産業である半導体関連産業を振興するため、令和5年3月広島県や広島大学、民間企業等と連携した「せとうち半導体共創コンソーシアム」に参画し、半導体人材の育成や産官学連携の研究開発に取り組む予定である。そして5月、マイクロン・テクノロジーが広島工場において最大で5,000億円の投資を行っていくと決定したことは、高度な能力を有する人材を呼び込む次世代学園都市づくりに大きなインパクトを与え、東広島市と市内大学が一つになり、科学技術イノベーションによる地域課題解決と人材育成を目指すTown&Gown構想の追い風となる。
				ア マイクロン・テクノロジーの投資拡大・技術開発が第五次総合計画の中でどのような位置づけにあるのか。また投資拡大などがもたらす市税や雇用等の波及効果など、東広島市民にとっての恩恵について伺う。				
				イ 東広島市の総合計画に示された2030年までに市内総生産1兆円超という目標の達成に不可欠なリスキリングや高度人材の集積・確保を進める具体的な施策・事業について伺う。				

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
		3		市民の市政への参画について		
			(1)	市民の市政への参画について デジタル技術の急速な発展等により本市を取り巻く環境は大きく変化し、柔軟に対応していくことが求められている。まちづくりを進めるために多種多様で幅広い世代の人がまちづくりに参画していくことが重要であるが、令和5年4月に実施された東広島市議会議員選挙の投票率から、市政への関心の低さが窺える。		
			ア	令和5年4月に実施された東広島市議会議員選挙における投票者数の受け止めを伺う。		
			イ	令和9年4月の選挙に向けた投票行動を促すための戦略を伺う。		

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
5	玉川 雅彦	1		本市における農業の在り方や方向性について	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分
			(1)	みどりの食料システム戦略について 我が国の食料システムは、高品質・高付加価値な農産物・食品を消費者に提供している。また、地域ごと・季節ごとに異なる我が国固有の食文化の魅力の源泉として国内外から高い評価を得ている。これは限られた農地を効率的に活用し、品種や栽培方法などを磨き、生産性を高める先人の技術の蓄積により形成されてきた。国内人口の減少により、国内市場が縮小していく中、今後、輸出拡大など海外の市場開拓に大きな期待が寄せられている。一方、食料生産を担う生産者の減少・高齢化の一層の進行など、生産基盤の脆弱化や、地域コミュニティの衰退が顕在化している中、農林水産業の生産力強化が我が国として克服すべき課題である。		
			ア	近年、食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立が強く指摘されている。気候変動による大規模災害の頻発や、生物多様性の急速かつ大規模な損失、地域によっては病虫害の蔓延や地力の低下などの生産現場への影響が深刻化している。自然や生態系の持つ力を巧みに引き出して行われる食料生産・農林水産業において、その活動に起因する環境負荷の軽減を図り、豊かな地球環境を維持することは、生産活動の持続的な展開に不可欠である。このような生産力向上と持続性の両立を実現するカギとなるのが、食料システムを構成する関係者の行動変容と、それを強力に後押しするイノベーションの創出であると考えられる。以上のことから本市としてどのような方向性をもっていこうとしているのか伺う。		
		イ	将来にわたり、食料の安定供給と農林水産業の発展を図るためには、生産者の減少・高齢化やポストコロナも見据え、省力化・省人化による労働生産性の向上や生産者のすそ野の拡大と共に、資源の循環利用や地域資源の最大活用、化学農薬・化学肥料や化石燃料の使用抑制等を通じた環境負荷の軽減を図り、カーボンニュートラルや生物多様性の保全・再生を促進し、災害や気候変動に強い持続的な食料システムを構築することが急務である。このことは、食料・農業・農村基本計画に示された食料自給率の向上と食料安全保障の確立を確かなものにする事、その実現には、調達に始まり、生産、加工・流通、消費に至る食料システムを構成する関係者による正確な現状把握と課題解決に向けた行動変容が不可欠である。以上のことから、本市において全ての生産者の方たちに、このことについて理解していただき、課題解決を図っていく必要があると考えるが、市としてどのようにお考えか伺う。			

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
		2		東広島市GIGAスクール構想のその後について	市副教 長 担当部局長	35分
		(1)		学習端末を使用したいじめ問題について 2020年度以降、全国の小中学校に1人1台配置された学習用端末を使ったいじめが、全国の主要109自治体のうち、少なくとも25自治体で47件あったことが読売新聞の調査でわかった。他の児童のIDやパスワードを勝手に使用する不正アクセスも23自治体で36件に上り、学校は端末の不適切な利用に苦慮している。		
		ア		調査は2～4月、政令市、道府県庁所在市、中核市、東京23区の計109自治体を対象にインターネットで実施。97自治体が回答した。 学習用端末導入後、「その機能を使ってのいじめはあったか」との質問には東京都、大阪府、愛知県、埼玉県など12都府県の25自治体が「あった」と答え、47件が確認されている。 このことについて本市の現状について伺う。		
		イ		関西の中学校では、生徒3人が文書共有ソフトを担任に見られない設定にして、別の生徒の悪口を書き込んでいた。又教員より子供の方が端末の機能やソフトの知識が豊富であり対策の難しさを指摘する声もあがっている。 一方、トラブルが起きた際に調査をするためとして37自治体が端末の履歴を集めていた。中国地方の中学校では履歴で悪口の書き込みを確認し、生徒を指導したケースもあったとのことである。そこで本市においても何らかの対策を講じなければならないと考えるが、対策についてはどの様に考えているのか伺う。		

# 一般質問通告者一覧表（6月20日）

令和5年第2回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間									
		項目	細目	詳細											
6	小池恵美子	1	「道の駅西条のん太の酒蔵」について	(1)	「道の駅西条のん太の酒蔵」の運営状況について 「道の駅西条のん太の酒蔵」は、ホームページでも紹介されているように、『東広島市の「ひと・まち・もの・とき」すべてがクロスする市場として、新たな発見・体験の扉を開くゲートウェイ。』というコンセプトのもと開業された。来月開業一年目を迎えるにあたって、運営状況の調査が必要と考える。	市副市長 教育長 担当部局長	35分								
				ア	開業からこれまでどのようなイベントが行われたか伺う。										
				イ	「安心なドライブのために、交通安全情報・道路情報を提供、また観光情報の他、住まいや仕事等の地域情報など、東広島市に関する様々な情報発信に努める。」とあるが、現在どのような情報が発信されているか伺う。										
				ウ	多目的展示室・わんわんひろば・屋内遊戯場などの利用状況について伺う。										
				エ	昨年末と現在シャトルバスの実証運行が行われているが、どのような目的を持って運行されているのか伺う。										
				(2)	ゲートウェイとしての「道の駅西条のん太の酒蔵」の果たすべき役割について ゲートウェイとして東広島市全体に観光客を誘うための戦略が必要と考える。										
				ア	「道の駅西条のん太の酒蔵」の情報発信ツールについて伺う。										
				イ	情報発信施設はどこが運営主体で、情報発信の充実を図るための施策について伺う。										
				ウ	防災機能を持つ当施設は、地元住民と協働で災害時対応にあたることが重要だと考えるが、訓練・協議の場を定期的に設ける考えはあるか伺う。										
				2	東広島市の環境問題への取り組みについて			(1)	プラスチックゴミ削減対策について 本市は次世代型の環境都市として基本目標の一つとして「ゼロエミッションシティの実現」とし、ゴミの減量化・資源化を基本方針に掲げている。ゴミの中でもプラスチックゴミは生態系にも影響を及ぼすと世界的に取り組みが行われている。 レジ袋の有料化でマイバックを持ち歩くことが普通となった今、次のプラスチック発生抑制を目指すべきだと考える。	市副市長 教育長 担当部局長	35分				
		ア	「ゴミの発生抑制(リデュース)」に対して本市の取り組みについて伺う。												
		イ	他自治体の中には給水スポットを公共施設に設置する取り組みが行われているが、本市でも取り組む考えがあるか伺う。												
		3	児童の熱中症対策について			(1)	熱中症対策としての水分摂取方法について 小学校からのメールで、夏場の熱中症予防のひとつとして「可能な限り水筒は大きめのものにする。」とのお知らせがあったが、児童の荷物の重さや登校時の気温の上昇を考えると負担がより一層増すと考える。					市副市長 教育長 担当部局長	35分		
														ア	水筒の水（またはお茶）の補給は、学校の水道水でも可能と思うが、そのような指導はできないか伺う。
														イ	中学校には冷水器が設置されているが、小学校に設置する考えはあるか伺う。